【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公開番号】特開2010-115295(P2010-115295A)
【公開日】平成22年5月27日(2010.5.27)
【年通号数】公開・登録公報2010-021
【出願番号】特願2008-289424(P2008-289424)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月18日(2010.5.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の数値範囲で数値を更新する数値更新手段と、
前記数値更新手段が更新する数値を保持可能な第１状態と、保持不可能な第２状態を有し、前記第１状態において操作部に対する操作を受け付けた場合には、操作を受け付けたタイミングで前記数値更新手段が更新する数値を保持する数値保持手段と、
少なくとも遊技に設定された規定数の遊技媒体が投入されることを開始契機とした抽選モードにおいて、前記操作部の操作を受け付けた場合には、前記数値保持手段が保持した数値を読み出して、読み出した数値と、前記所定の数値範囲に亘って抽選結果が対応付けられた抽選データと、に基づいて抽選処理を行う抽選処理実行手段と、
前記数値保持手段を前記第１状態とする状態更新処理を行う状態更新処理実行手段と、
を備える遊技台であって、
前記数値保持手段は、
前記数値更新手段が更新する数値を保持する数値記憶手段と、
更新可能なフラグ情報であって、前記数値保持手段が前記第１状態である場合には前記第１状態を示す情報、前記数値保持手段が前記第２状態である場合には前記第２状態を示す情報を記憶するフラグ情報記憶手段と、
を備え、
前記状態更新処理は、予め定めた時間ごとに実行されるタイマ割込処理において、前記フラグ情報記憶手段に記憶されたフラグ情報を、前記第１状態を示す情報に更新するとともに前記数値記憶手段に記憶された数値を読み込む処理であり、
前記数値保持手段は、
前記タイマ割込処理において、前記状態更新処理が実行されると、前記第１状態となり、前記第１状態において前記数値記憶手段に数値が保持されると、前記第１状態から前記第２状態に更新されるように構成され、
前記抽選モードを開始した後の前記操作部に対する操作受け付け時より前において、前記状態更新処理実行手段により前記状態更新処理が実行され、前記数値記憶手段に保持された数値が読み出された場合には、読み出された数値は、前記抽選処理に用いられず、
前記抽選モードを開始した後の前記操作部に対する操作受け付け時において、前記数値記憶手段に保持された数値が読み出された場合には、読み出された数値は、前記抽選処理

に用いられることを特徴とする遊技台。
【請求項２】
前記状態更新処理実行手段は、
前記抽選処理実行手段が前記抽選処理を行った後には、前記状態更新処理を実行しないことを特徴とする請求項１記載の遊技台。
【請求項３】
前記フラグ情報記憶手段に記憶されたフラグ情報を前記状態更新処理実行手段に出力するフラグ情報出力手段をさらに備え、
前記状態更新処理実行手段は、
入力したフラグ情報が前記第２状態を示す場合には、前記状態更新処理を実行することを特徴とする請求項１又は２記載の遊技台。